

## J Aバンク大分における地域密着型金融の取組状況（平成 29 年度）

J Aバンク大分（大分県下 J Aと大分県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 28～30 年度 J Aバンク大分中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 29 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

### 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク大分は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

#### （1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク大分は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 30 年 3 月末時点の J Aバンク大分の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は 6, 437 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は 1, 857 百万円を取扱っています。

(注)

1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

2 J Aバンク大分が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

#### 【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成 30 年 3 月末現在
農業	8 2 3
穀作	9 3
野菜・園芸	5 7
果樹・樹園農業	—
工芸作物	6 2
養豚・肉牛・酪農	5 4 3
養鶏・鶏卵	5 4
養蚕	—
その他農業	1 3
農業関連団体等	5, 6 1 4
合計	6, 4 3 7

(注)

1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成30年3月末現在
プロパー農業資金	6, 1 4 8
農業制度資金	2 8 9
農業近代化資金	2 6 3
その他制度資金	2 5
合 計	6, 4 3 7

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク大分が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク大分が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成30年3月末現在
日本政策金融公庫資金	1, 8 5 7
そ の 他	0
合 計	1, 8 5 7

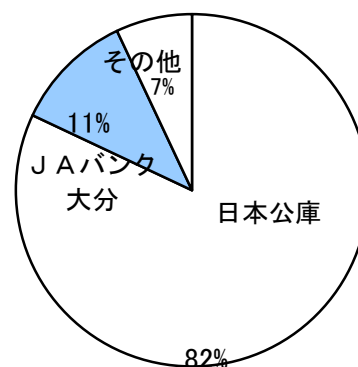
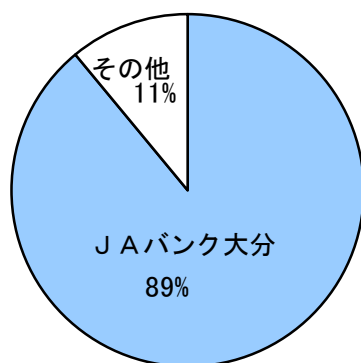
(注) JAバンク大分では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク大分は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【大分県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア  
(平成29年12月末時点)  
出所：大分県 団体指導金融

日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア  
(平成30年3月末時点)  
出所：日本政策金融公庫 大分支店



## (2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク大分では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成29年度末時点で6 J A・66名配置しています。

J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成29年度末時点で県内に35名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的としています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

大分県のJ Aグループでは、J A・信連・中央会等が一体となって「担い手サポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。

## (3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

## (4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

## 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク大分は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

### (1) 次世代農業者の育成支援

J Aバンク大分では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 単位 件、百万円

	平成29年度 実行件数	平成29年度 実行金額	平成30年3月 末 残高
青年等就農資金	0	0	0
就農支援資金	0	0	9
J A新規就農応援資金	0	0	2
その他	0	0	0
合計	0	0	11

## 新規就農応援事業実績

将来の国内農業における中核的な担い手および多様な担い手を育成・支援し、もって地域農業基盤の振興・発展および地域活性化につなげることを目的とし、本事業を実施しております。

①営農支援事業：種や苗、肥料の購入など、農業経営にかかる費用を助成しています。

②研修支援事業：資材費、住居費、就農研修に必要な費用を助成しています。

年 度	①営農支援事業		②研修支援事業	
	件 数	金 額	件 数	金 額
27年	68件	13,600	12件	5,260円
28年	96件	19,200	24件	8,703円
29年	113件	22,600	17件	7,490円

## (2) 農商工連携の推進

J Aバンク大分は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

### 【平成29年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
第5回 JA・JF グループ九州 沖縄食の発信商談会	平成30年 1月24日	九州各県信連 農林中央金庫	32団体	首都圏、関 西圏のバイ ヤー10名	成約19件 (予約商談91件)

## (3) J Aバンク大分講演会・セミナー等の開催・参画

J Aバンク大分では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ブランドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

### 【平成29年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
J Aバンク大分 農業経営者セミナー	平成29年 9月15日	J A大分信連 農林中央金庫	融資取引先 融資推進先	30名	題目「商談を有利に導く マーケティング」

## (4) 被災者等への支援

J Aバンク大分では、平成29年7月「九州北部豪雨」の被災者を支援するため、災害支援資金を創設しました。

単位 件、百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成29年度7月「九州北部豪雨被災者支援資金」の対応	J Aバンク大分 J Aグループ大分	J Aバンク大分では、平成29年7月の九州北部豪雨で農畜産物・生産設備等の被害を受けた農業者に対し、行政およびJAグループ大分が利子補給・保証料助成を行い、低利の資金を対応しました。	19	22

### (5) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク大分では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

#### 【平成 29 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		0	0	—	0	0	0
要注意先	うち その他要注意先②	1	0	0	1	0	0
	うち 要管理先③	0	0	0	0	0	0
破綻懸念先④		0	0	0	0	0	0
実質破綻先⑤		1	0	0	1	0	0
破綻先⑥		0	0	0	0	0	0
小計 (②～⑥の計)		2	0	0	2	0	0
合計		2	0	0	2	0	0

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 30 年 3 月末時点のものです。

### 3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク大分では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

#### (1) 資本供与の取組み (ファンドの活用)

J Aバンク大分では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。

#### (2) 6次産業化の支援

J Aバンク大分では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

#### (3) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク大分では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

#### 【平成 29 年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	平成 29 年度 実行件数	平成 29 年度 実行金額	平成 30 年 3 月末残 高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	6 5
畜産特別資金	0	0	1 7 4
その他	7	9	6 3 1

合計	7	9	870
----	---	---	-----

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

#### (4) 動産担保融資の活用

JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

### 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク大分では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

#### (1) 食・農への理解促進

JAバンク大分は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、平成29年度には県下の小学校272校へ約1万1千冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

#### 【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JA大分中央会	食育ファミリーフェスタ	ぶどう・もも狩り体験
JAべっふ日出	ものづくり体験会	サツマイモ収穫体験
JAおおいた	ふれあい農園	ジャガイモの植付け、収穫体験
	夏休み親子スクール	ネギの育成方法について学習
JA九重町飯田	学童農園	野菜の育成体験

以上